みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ情報紙
MINAMI-LOUNGE：http://tabunka.minamilounge.com/
2021年9月 発行NO.102

アクセスみなみ

2021 みんなの「わっ」フェスタ

2021年の「みんなの『わっ！』フェスタ」は工夫を凝らし
以下のようなプログラムで開催します！お楽しみに！！

街の先生ミニワークショップ

地域で活躍する街の先生によるミニ講座です。この機会に興味あるプログラムを体験して下さい。詳細は以下をご覧ください。

市民活動団体パネル展

団体の活動をパネルで紹介します。クイズラリーにもぜひ参加してください！みなみラウンジにて開催します。 展示期間：
11月27日(土)～12月28日(火)

多文化ステージ

地域の外国の方々による多文化ステージです。踊りあり、読み聞かせありと多文化を動画で満喫できます！
動画配信：
12月10日(金)～3月31日(木)

日本語スピーチ

日本語学習者による日本語スピーチを動画でご覧ください。
動画配信：
12月10日(金)～3月31日(木)

「街の先生ミニワークショップ」および「市民活動支援講座」は新型コロナウィルスの感染状況により、Zoom開催または対面開催のどちらかとなりますが、現在未定となっております。ご了承ください。

街の先生ミニワークショップのお知らせ

日時：2021年11月27日（土）11時～16時
人数：各回10名まで（先着順）
申込は各講座毎に11月11日より電話・メール・FAXで受け付けます。詳しくは、11/1以降みなみラウンジのHPをご確認ください。
※オンライン開催の予定ですが、コロナ感染の状況によっては、みなみラウンジで対面開催となります。

No.	講座内容	講師名	時間
1	マジック講座	山田静夫	11時～12時
2	転ばぬ先の合気道	青木　清	13時～14時
3	相撲体操	上林義之	15時～16時
4	韓国語講座	金　永子	11時～12時
5	和紙工芸	長谷川孝子	13時～14時

2021年度市民活動支援講座
「ちらし・ポスター作り方講座」

●講　師：イベントプロデューサー　長谷川　慶　氏
●内　容：
【第1回】10月5日（火）14～16時
「よりよくするためのコツを知る」
【第2回】10月12日（火）14～16時
「パワーアップしたチラシを作ろう！」
●申込について
対象：市民活動をしている方
人数：先着15名　（申込開始：9月11日から）
申込方法：①氏名 ②連絡先電話番号 ③活動分野を記入し、電話・メール・FAXでお申込み下さい。

※コロナ感染状況によりオンライン（Zoom）での開催を予定しておりますが、状況が改善した場合には、みなみラウンジで対面開催となります。

申込み・問合せ：
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
電話:045-232-9544　FAX:045-242-0897
email: minami-kouza@yoke.or.jp

利用人数制限、換気、消毒を徹底し、開館しています。
来館の際には、マスクの着用・手指の消毒・体温測定などへのご協力をお願いいたします。

特集：「利用者のつどい」（利用団体の交流会）をオンラインと対面併用で開催しました！

7月21日（水）、みなみラウンジの利用団体の交流会である「利用者のつどい」を、コロナ禍で感染予防の観点から、密を避けるため、オンラインと対面併用で開催しました。

今年度は「助成金はじめの一歩」と題して、活動資金をどう集めて自分たちの活動を広げるかについて、認定NPO法人エンパワメントかながわ理事長の阿部真紀さんの講演を聞き、その後、グループに分かれて意見交換をしました。

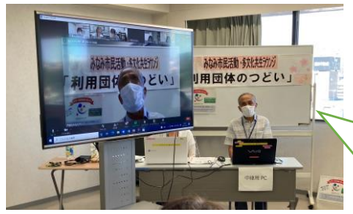
オンラインでの参加が17団体、ラウンジでの対面参加が10団体、計27団体でした。これほど多くの団体がオンラインと対面併用で集まる会の開催は、ラウンジでも初めての試みでした。担当者は、何度もシミュレーションを行い、準備を重ねてきました。当日、画面共有がうまくできない場面もありましたが、何とか無事に行うことができました。

講師の阿部さんにもオンラインでご参加いただきました。講演では、「市民活動団体として何をしたいのか、改めて考えた」「助成金により、活動の幅を広げていきたい」等、大きな反響をいただきました。

会場とオンライン参加者をモニターでつなぐ

モニターにはオンラインのZoom参加者が映し出されます。ラウンジで対面参加の皆様は、モニターを見ての参加となりました。ラウンジで進行するスタッフや、対面参加者の発言などは、中継用PCの映像でZoom参加者も確認することができます。

意見交換の場として、グループでの話し合いの時間を設けました。オンラインのZoom参加者はZoom上のグループで、ラウンジで参加した方は実際にグループに分かれての話し合いとなりました。



講演もオンラインで

ラウンジでご参加いただいた皆様は、自己紹介や意見発表の時だけ、中継用PC前に移動し、そこで話をしていただきました。

オンラインでの参加とは、PC等を利用して、オンライン会議ツール「Zoom」での参加のことです。
自宅などから参加できるため、移動時間なく会議に参加できる、遠方でも参加可能等、の利点があります。

オンラインでやる良さもあれば、抵抗感もあり・・・

例年であれば、30団体程度の参加者がラウンジに集まり、わいわいしながら、日ごろの活動報告をしあい、どこか協力し合えるところはないか、"畑違い"の活動内容に感心したりする「利用者のつどい」ですが、今回は、コロナの影響でこのような新しい手法での開催になりました。オンラインと対面で開催した今回の「利用者のつどい」について意見を伺いました。

障がい児者親の会「泉の会」伊藤さん

コロナ禍で、ハイブリット型の開催はとても良かったと思います。Zoomは怖い…と思っていましたが、今回初めて対面での参加でZoomを体験してみて、参加感がありました。外部の方のお話も聞けましたし、助成金の話もすごくよかったです。

健康麻雀の会　笠原さん

過渡期なんだと思います。今回の会は、まだまだ発展途上の段階でこれからますますこういう会は増えていくと思います。

法人以外の団体の話や、役員のなり手がない等、団体の悩みを共有する時間がほしかったので、交流の時間や質疑応答の時間はもう少し時間がほしかったです。

とも南日本語教室　大島さん

こういう機会（オンラインでのやり方）が増えると、便利だけれども、これでいいのかと考えさせられます。PCはいまだにしっくりきません。画面を見て話すことと対面で実際に会って話すことは、どうしても違います。今後こういう機会は増えてくると思いますが、怖い部分もあります。人と人とのつながりについて、考えさせられます。

コロナで集まれないから中止、という一択ではなく、出来ることをやっていこう！ということで、今回はオンラインと対面の併用の開催に挑戦しました。Zoom等を使って、オンラインでグループ討議ができるからといっても、本当は集まってもっともっとお話聞きたかった、というのが参加した皆さんの心の声ではないでしょうか。1年前ではオンライン開催なんて、選択肢にありませんでした…コロナに負けるな!!の一念でオンラインのスキルを上げてきた方もいらっしゃると思いますし、対面の良さを再確認した方もいると思います。もう少し、コロナが収まるまで、対面の良さを忘れず、オンラインの可能性にも目を向け、日々の活動を止めずに過ごせるよう、ラウンジもサポートをしていきたいと思います。

＜南区施設紹介⑩＞吉野町市民プラザ　（〒232-0014　横浜市南区吉野町5-26）

電話：045-243-9261　FAX：045-243-9263　　ＵＲＬ：http://www.yoshinoplaza.jp/

＜地域の文化拠点として＞

吉野町市民プラザは、横浜市で最初の市民プラザとして1989年南区吉野町に設置されました。地域文化の振興・活性化に寄与し、皆様に親しまれる施設を目指しています。

＜施設概要＞

吉野町市民プラザは、市営地下鉄「吉野町」駅から徒歩3分、京浜急行線「南太田」駅から徒歩7分の立地です。ホール（200席）、ギャラリー、スタジオ（3室）があり、会議室もご利用いただけます。ホールは、コンサート・古典芸能・ダンスの発表や練習、または講演会など幅広くご利用いただいております。

＜施設の取組み＞

吉野町市民プラザでは、今年度横浜市の恒例事業でもありますDance Dance Dance @YOKOHAMA 2021 のパートナー事業、共催事業を開催します。パートナー事業では出演団体を募集してジャンルの問わないダンスステージにご参加いただきます。共催事業ではタップダンスのワークショップ及び作品発表する事業を開催します。他にもアコースティックギターワークショップなど様々な自主事業を展開していきます。

また、上記パートナー事業は地元地域ケアプラザと連携した事業でもあり、ローカルコミュニティと連携強化を図るなど、地元貢献に取り組んでまいります。

施設外観

ご利用案内
【開館時間】9：00～22：00（施設での利用申込受付時間は21時まで）
※新型コロナウイルス感染症対策の為20時以降のご利用がない場合には閉館時間を繰り上げることがあります。
ご来館の際はお問合せのうえ、お越しいただけますようお願い申し上げます。
【休 館 日】年末年始（12月29日～1月3日）および施設点検日（原則として毎月第1月曜日※）
※異なる場合がございますのでお問合せください。

＜シリーズ：タウンニュースの記者が "見た・聞いた・感じた"＞

このコーナーでは、地域情報新聞「タウンニュース」南区版の門馬康二編集長が、日々、南区を回る中で感じたことなどを綴っていきます。門馬編集長は南区を担当して15年目。区役所などの行政機関や商店、市民団体などを取材し、イベントなどの現場にも足を運んで記事を書いています。

門馬編集長　（撮影：若尾久志）

鉛筆を持って投票所へ

8月22日に投開票された横浜市長選挙は山中竹春氏が当選し、新市長となりました。

この市長選、新型コロナウイルスの感染拡大以降、市内で初めて行われる選挙でした。感染防止策として投票所の消毒徹底はもちろん、記載台に置く鉛筆を樹脂製の使い捨てのものにしていました。これは、その都度鉛筆を消毒していては、投票がスムーズに進まないための措置です。

投票所によって差はありますが、私が行った投票所では、箱に入った鉛筆を自分で手に取り、投票後に大きな透明の袋に鉛筆を入れる流れでした。

私が持参した鉛筆と投票証明書

市選挙管理委員会によると、この使い捨て鉛筆は1本約2円で、250万本を用意したそうです。ということは、この鉛筆に約500万円の税金が使われたことになります。

実は有権者が持参した鉛筆の使用も認められています。事前にそれを知っていた私は、普段はほとんど使わない鉛筆を会社の机の中から探し出して持参し、投票所の係の方に「鉛筆は持ってきました」と告げて投票用紙に記入しました。

おそらく、年内にある衆院選でも今回と同じ使い捨て鉛筆が使われるでしょう。レジ袋の有料化によって、市民のプラスチック製品に対する意識は大きく変わりました。もし可能なら、次回の選挙では鉛筆を持参されてみてはどうでしょうか。

登録団体活動紹介リレー

神奈川傾聴塾

人は誰でも、心から聴いてほしいのではないでしょうか。

目的

神奈川傾聴塾は「傾聴」を通して困難と苦しみのなかにある人々を支える活動を目的とし、「聴くことはそれだけで援助になる」という理念をもとに、その実践と研究、教育を行っています。

活動内容

訪問相手は入院患者の方、施設利用者の方、在宅のお年寄り、不登校の児童・生徒などのほか、聴いてほしい方はどなたでも、対面あるいは電話、リモートでお話を聴かせていただきます。

●●●団体結成の経緯●●●

今から30年近く前（1993年）、傾聴活動の提唱者・村田久行氏は山形県で特養ホームを訪問し、お年寄りのお話を聴くボランティアを始め、それを「傾聴ボランティア」と命名しました。その後、神奈川県で開講した傾聴ボランティア養成講座の修了者たちが1997年に神奈川ALCを結成し、2005年に神奈川傾聴塾と名称を変更しました。

●●●今後の課題と夢●●●

現在コロナ禍にあって、病院や施設を訪問することは難しいのですが、身近なところに援助を必要としている方が沢山おられることを日々実感しています。いつでも、どこでも、誰にでも援助になる聴き手として傾聴活動を実践していきたいと願っています。(今年はあと１回リモートで養成講座を開講する予定です。http://keicho.mond.jp)

写真上下：傾聴ボランティア養成研修を熱心に受講される参加者の皆様

新しい街の先生紹介

華　道
～フラワーアレンジから挿花まで～
福原初代（ふくはらはつよ）さん

コロナ生活の中、ちょっとした小花にも季節を感じて、お花のある部屋を楽しんでみませんか？

身近なお花でリラックスできます。フラワーアレンジから挿花まで指南します。

楽しむ華道をしませんか？

みなみ市民活動・多文化共生ラウンジは、誰もが心豊かでいきいきと生活できる元気な地域を実現するために自主的な活動を応援します。市民活動・生涯学習の相談・情報の提供、機材の貸出・ミーティングスペース等の利用ができます。

～INFORMATION～

南区日本語ボランティア・ブラッシュアップ講座を行いました！

8月29日、9月5日の2回にわたり、「生活者としての外国人」のための日本語学習サイト「つながるひろがる にほんごでのくらし/文化庁」に携わった有田玲子氏を講師にお迎えし「オンラインによる日本語学習支援に挑戦しよう」のテーマで開催しました。このサイトの活用法、活動の広げ方について、定員20名を超えた26名の受講者の方々と共に考えました。

受講者からは「オンラインでの学習支援ということでしたが、対面での場合でも参考になって、とても有意義な講座だった。早速現場で実践してみたい」との声が多く、大好評の講座となりました。

日本語ボランティア募集しています！

地域の外国人や子ども達に日本語を教えるお手伝いをしてみませんか？

日本語学習支援教室からのメッセージ

◆日本での生活に不便不安を感じている人たちの友達になることは素晴らしいことです。（あい・にほんごクラブ）

◆お国が違っても、みんな友達　素敵な出会いが始まります。(IEみなみ日本語教室)

◆回を重ねる毎に、日本語、特に漢字の難しさがよく分かりました。(とも南日本語教室)

◆他国の事情に触れる機会が多く、日本の平和を有難く感じます。(みなみVクラブ)

活動のPR・仲間募集をしませんか？

利用登録団体は、各団体が行っている市民向け講座やイベントなどのＰＲ、メンバー募集などをすることが出来ます。ご希望の際には、いつでもご連絡下さい。

次回原稿〆切：11月30日（12月発行）

発行：みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ
〒232-0024
横浜市南区浦舟町3-46　浦舟複合福祉施設10階
045-232-9544（日本語）
045-242-0888（外国語）
当施設は南区から委託を受け、YOKE（横浜市国際交流協会）が運営をしています。